

北海道支部

2017 年度北海道支部定時社員総会議事録

一般社団法人日本音響家協会北海道支部は、下記のとおり「2017 年度北海道支部定時社員総会」を開催した。

日 時： 平成 29 年 4 月 19 日(水) 18 時 00 分～19 時 00 分

場 所： 札幌エルプラザ市民ホール 研修室 5

会員数： 38 名(正会員： 38 名 準会員： 0 名)

定足数： 19 名

出席数： 総議決権数 29 (内 在席 10 委任 19)

定刻は 18 時 00 分、支部長大澤実が議長として議長席に着き、2017 年度北海道支部定時社員総会の開会を宣し、事務局長佐々木雄太が開会時において出席者数が定足数を超過しており、本総会が成立していることを報告して議事に入った。

議事の概要

【第 1 号議案】 2016 年度事業報告

議長は事務局に 2016 年度事業報告の提案を命じ、事務局長佐々木雄太が議案書を提示して次の各事業等について報告し提案した。

1. セミナー

・「施設見学会」

2016 年 6 月 6 日 札幌市民ホール 参加者は会員 10 名。北海道として初導入になる YAHAMA の PM-10 が導入されたため施設見学会を開催した。

・「スケールモデル見学会」

2016 年 6 月 28 日 北海道科学大学で「札幌市市民交流プラザ」のスケールモデルの見学会 参加者は会員 10 名 非会員 8 名 関係者 6 名。オペラもできるホールとして設計されるホールのスケールモデルを見学、また当日は建築音響設計の業者の方も参加しており、いろいろ説明していただいた。

・「音響家技能認定講座ベーシックコース」

2017 年 2 月 19.20 日 札幌サンプラザホール 受講者は 15 名(会員は 1 名)

道内ホールや音楽関係に呼びかけし受講者の確保に努めた。今回も道外から参加してくれた方もいた。

参加者の感想によると、「座学で音響の勉強ができる機会がないので、このようなセミナーは非常にありがたい」などの意見があり満足していただけた内容であった。

講師は北海道支部の大澤実氏、坪田栄蔵氏、下川正啓氏、河端昭氏、高橋洋平氏

2. 親睦会

・2016 年 4 月 20 日(定時社員総会后)

・2016 年 6 月 28 日(スケールモデル見学会終了後)

・2016年8月22日(暑気払いビアパーティー)

3. 出版・編集

・SOUND A&TNo.86号の特集を担当

「コミュニティ-FM局の現状と地域文化との関わり」

6名の方に執筆を依頼。FM5局、FMいるか(函館)、ラジオニセコ(ニセコ)、三角山(札幌市)、Airてっし(名寄)、FMもえる(留萌)と、日本コミュニティ放送協会の計6名。

4. 会議

・北海道支部定時社員総会

2016年4月20日札幌市教育文化会館

・日本音響家協会定時社員総会(東京八重洲開催)

2016年5月26日 理事 坪田栄蔵 及び 支部から支部長 大澤実が出席した。

・運営委員会

2016年6月6日、7月23日(電磁式)、9月14日、12月1日、2017年2月15日、5回開催した。

5. その他

・北海道音響事業協会主催「第18回 Hokkaido Sound Business Association(HSBA)機器展」に協賛

2016年11月30日~12月1日、札幌コンベンションセンター大ホール

・会員動向

2016年度現在会員数は38名。

・今年度の優良ホール100選に選定された、岩見沢市民会館・文化センターまなみーるの説明

【第2号議案】2016年度決算報告

議長は会計担当に2016年度決算報告の提案を命じ、会計担当佐々木慎吾が別紙1の2016年度収支決算報告及び科目別収支一覧を提示して説明し、提案した。

議長は以上の第1号議案及び第2号議案の提案について質疑を促して審議し、2議案の承認を求めたところ、全員の拍手を以って原案通り承認した。

【第3号議案】2017年度事業計画

議長は2017年度事業計画の提案を命じ、副支部長坪田栄蔵が議案を提示して次の各事業計画について説明し、提案した。

1: 毎年恒例のビアパーティーを7月に開催

2: A&T91号2017年10月発行号の担当

テーマ「コミュニティ-FM局の現状と地域文化との関わり No2」として北海道内の数局のコミュニティ-FM局のに執筆依頼する方向で進めていく。

3: 公共ホール技術者のための映像セミナー(本部事業委員会と共催)金沢で開催されたセミナーの北海道版を予定

4: 新設ホール「ふきのとうホール見学会」今年度の総会前に施設見学会を開催。

5: ビギナーズコースの実施及び講師育成

北海道支部としてビギナーズコースとベーシックコースを交互に開催していく予定であり、2016年度にベーシックコー

スを開催したため今年度はビギナーズコースを開催予定。恒例化していく方針。また講師の育成の勉強会も開催予定。

【第4号議案】2017年度予算

議長は2017年度予算の提案を命じ、会計担当佐々木慎吾より別紙2の2017年度予算案を提示して説明し、提案した。

議長は以上の第4号議案及び第5号議案の提案について質疑を促して審議し、2議案の承認を求めたところ、全員の拍手を以って原案通り承認した。

【第5号議案】その他

オペレーターコースの北海道開催を模索しており、人数集めなど問題もあるが、できるだけ前向きに検討していくという説明が副支部長 坪田栄蔵よりあった。

今年度の全国総会やケーブル巻きコンテストスペシャル大会のことなどについても説明があった。

以上をもって全ての議事が終了したので、議長は19時00分に閉会を宣言して2017年度北海道支部定時社員総会を終了した。

2017年4月19日

一般社団法人日本音響家協会北海道支部

支部長 大澤実

議事録作成者 事務局長 佐々木雄太

一般社団法人 日本音響家協会 北海道支部

2016年度 収支決算報告

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度剰余金	1,628	通信発送費	20,410
運営費	155,487	日当	101,000
		接待交際費	16,222
		会議費	7,200
		事務用消耗品費	1,188
		支払手数料	324
		分担金	8,513
小 計	157,115	小 計	154,857
		剰余金	2,258
合 計	¥157,115	合 計	¥157,115

2016年4月1日～2017年3月31日迄の決算報告

会 計 担 当

佐々木 慎吾



厳正に監査いたしました結果、間違いがないことをご報告いたします。

会 計 監 査

加藤 久男



一般社団法人 日本音響家協会 北海道支部

2017年度 予算(案)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度剰余金	2,258	講演料・謝金	10,000
運営費(38名)	152,000	通信発送費	6,000
セミナー等収入	15,000	日当	120,000
		接待交際費	10,000
		会議費	17,258
		事務用消耗品費	5,000
		支払手数料	1,000
小 計	169,258	小 計	169,258
合 計	¥169,258	合 計	¥169,258

一般社団法人日本音響家協会北海道支部

支部長 大澤 実 様

監査報告書

一般社団法人 日本音響家協会 北海道支部 2016 年度事業及び会計報告について監査しましたので、ここに報告いたします。

○会議の運営

適切に会議の招集、議事の記録などの運用が行われていることを確認いたしました。

○事業の運営

適切に事業の計画、報告、記録などの運用が行われていることを確認いたしました。

○会計処理

関係する帳票、現金、通帳を突き合わせ、適切に処理されていることを確認いたしました。

2017 年 4 月 11 日

北海道支部

監査 加藤 久 男

